



2017-18
国際ロータリーテーマ

ロータリー：
変化をもたらす

Rotary イアン H.S. ライズリー



2017～2018年度 標語
共に学び 共に奉仕を

諫早西ロータリークラブ
会長 塚原 浩三

第1534例会 2017年 7月 19日例会記録

NO.3 天候 曇

【本日】会員数 43名 出席 38名 欠席 3名 免除 2名 (出席 0名) 出席率 92.68%
【7/5】会員数 43名 出席 39名 欠席 2名 (MU 3名) 免除 2名 出席率 95.12%

会長の時間



皆さん、日本の漢字でどうしてこの字を使うのか不思議に思うことはありませんか？ 私は親切という字が、親を切るとかいて何故、親切(しんせつ)なんだろう？ どこからきたのだろう？ と思い調べてみました。切るの文字には、“ひたすら”とか“いちずに”とかの意味があるそうです。そう言えば、切愛という言葉があり、“いちずに愛する”、という意味です。それと同じなのかなと思います。

親を大切にひたすら仕える、そのような心、相手を大切にする心ですね。そのような心で人と接するそれが親切であると思います。

ロータリーという奉仕にも、根底にそれがあっての奉仕ではないでしょうか。

幹事報告



【例会変更】

※諫早ロータリークラブより

日時：平成29年7月28日(金) 18:30～
場所：水月楼 ※納涼例会のため

【お知らせ】

※ガバナー事務所より

- ①「社会奉仕事業アンケートご協力依頼」のお知らせ
- ②「災害義援金」のお願い
 - (1) スリランカ洪水被災義援金
 - (2) 北部九州集中豪雨被災義援金

会長／塚原 浩三 幹事／山本 健志 創立日／昭和60年2月20日 認証日／昭和60年3月5日
例会場／平安閣 諫早サンプリエール(毎週水曜日) 〒854-0053 諫早市小川町71-1 TEL (0957) 24-3907
事務局／諫早商工会議所内 〒854-0016 諫早市高城町5番10号 TEL (0957) 22-3323
会報委員／清水 淳・立野 守・久保泰正・池田久幸・佐藤真太郎
HP/<http://isahaya-west.com> E-mail/info@isahaya-west.com

※諫早北ロータリークラブより

①「熊本地震復興支援 チャリティーイベント

鎮西学院卓球部 創部70周年記念 中学生卓球大会」
のお知らせ

日 時：平成29年8月17日(木)

開館8:00 開会式9:00

場 所：諫早市中央体育館(観覧無料)

②「宮崎強化本部長、平野美宇選手、張本智和選手
来諫歓迎会」のお知らせ

日 時：平成29年8月16日(水) 18:00～

場 所：L&Lホテルセンリュウ



塚原 浩三君：先週に引き続き計画の発表、宜しくお願い
します。

永井 栄次君：暑中お見舞い申し上げます。

南部 仁君：福岡・熊本・大分のこのたびの豪雨災害に
合われた皆様へ、先週の福田先輩を
見習って、お見舞い申し上げます。

日高 正朗君：先週は業務多忙につき、欠席しました。
ゴメンなさい。

木村 暢義君：何んもなかばってんスマイルします。そう
そう東北一周して来ました。3,000キロ
走りました。

山崎 祥弘君：私の一番の楽しみはテニスです。私の
スマッシュがきまると、みんな手をたたき
ます。なぜでしょう？

荒木賢治郎君：梅雨もあけました。皆様、熱中症に気を
付け、元気にロータリー活動にいそしみ
ましょう。

本日の合計(7/19)	累 計 額
¥12,000	¥135,000

クラブフォーラム

各委員会活動計画の発表

◇プログラム委員会

委 員 長：吉田健一郎 君

副委員長：宇土 久 君

竹中 正鳥 君

- ・有意義な例会が
できるプログラム作り
- ・各委員会との連携を密に
取り、クラブ活性化を目指す



◇会報・広報・雑誌委員会

委 員 長：清水 淳 君

副委員長：立野 守 君

委 員：久保 泰正 君

池田 久幸 君

佐藤真太郎 君

- ・ホームページ等の更新
- ・通常例会記録用としての週報発行
- ・外部卓話者へ、お礼状をつけて
週報と写真を送付する



◇記録保存委員会

委 員 長：平 武 君

副委員長：宇土 久 君

委 員：清水 淳 君

- ・一年間の記録および
保存を行いアルバム
として残す
- ・一年間の事業をまとめ
クラブ概況報告書に載せる



◇SAA

委 員 長：野中 英己 君

副委員長：山口 大司 君

委 員：御厨 善光 君

- ・気品のある楽しい例会を
目指す
- ・例会中の私語・居眠りの注意
- ・次回例会予定のアナウンス



◇職業分類・会員増強

・会員選考委員会

委 員 長：木村 暢義 君

副委員長：辻本 善樹 君

委 員：山口 大司 君

南部 仁 君

- ・先手必勝で増強に取り組む
- ・3名以上確保する



◇職業奉仕委員会

委 員 長：江嶋 利満 君

副委員長：荒木賢治郎 君

委 員：早田 和彦 君

馬渡 信也 君

- ・職場訪問の実施



◇社会奉仕委員会

委員長：古賀 秀次 君
副委員長：南部 仁 君
委員：松井 純治 君
福田 和幸 君
御厨 善光 君
佐藤 幸雄 君



- ・地域社会向上に関する奉仕活動
- ・地域の清掃奉仕活動

◇国際奉仕委員会

委員長：原田 典範 君
副委員長：吉野 尋隆 君
委員：吉次 良治 君
木村 暢義 君
永井 栄次 君

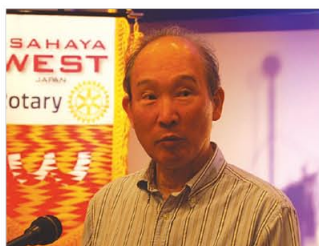


- ・留学生との日本文化及び
諫早市の歴史に触れる交流会
- ・大草小学校と佐世保ダービースクールの
生徒の交流会
- ・留学生卓話

◇ロータリー財団・

米山奨学委員会

委員長：宮本 峻光 君
副委員長：吉田 知之 君
委員：川野 弘茂 君
・米山奨学生の卓話
・米山奨学金寄附 3 名
ポール・ハリス・フェロー 1 名
ベネフィクター 1 名



◇青少年奉仕委員会

委員長：毎熊正太郎 君
副委員長：岩下 和明 君
委員：久保 泰正 君
立野 守 君
千住 良治 君
荒木賢治郎 君



- ・小学生によるミニバスケットボール大会の実施
- ・青少年月間の部外卓話の実施

◇会計報告

早田 和彦 君
・2016-2017 年度
会計報告



◇監査報告

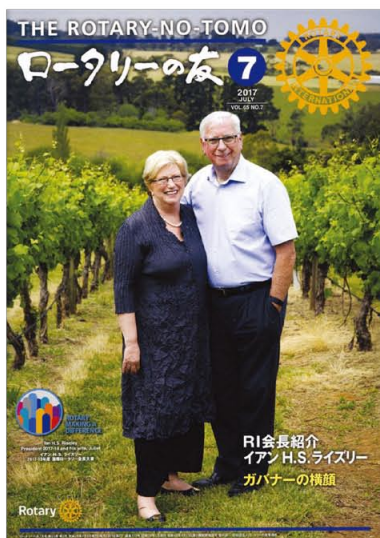
草野 恵介 君



ロータリアンの幸福

- ① 人を幸せにすることで、自分も幸せになる
- ② 良いことをする機会があり、とても気分が良い
- ③ 親切にすると感謝され、自分も嬉しい
- ④ 笑顔が身につき、人相が良くなる
- ⑤ 人から好かれる性格ができる
- ⑥ リーダーシップの勉強ができる
- ⑦ スピーチもそれなりに上手になる
- ⑧ 知識も広まり、人格が円満になる
- ⑨ 礼儀正しく、時間を守るようになる
- ⑩ ロータリーの会合では心が癒される
- ⑪ 良い友人が沢山できます
- ⑫ ロータリアン同士は信じあえることができます
- ⑬ 尊敬できる人との出会いがあります
- ⑭ 困った時に相談する相手ができます
- ⑮ 特別な宗教にかたよらず、宗教心が学べます
- ⑯ 健康を維持し、長生きができます
- ⑰ 家族どうしの交流がひろがります
- ⑱ 事業がうまくいき、生きがいも見つかります
- ⑲ 寛容の心を持ち、人を許すことができるようになります
- ⑳ 最後には自分が幸福であることをさとります

ロータリーの友 7月号



■ RI 会長メッセージ

持続可能な奉仕の究極

親愛なるロータリアンの皆さま、ロータリーに入会する理由は、ロータリアンと同じ数だけあります。もしかしたら、もっと多いかもしれません。しかし私たちがロータリーに居続けるのは、ロータリーが私たちの人生に何かをもたらしてくれるからでしょう。ロータリーを通して、私たちは世界中に「変化をもたらして」います。そして、私たちがロータリーに積極的に参加すればするほど、ロータリーは私たち一人一人に変化をもたらしてくれます。ロータリーは私たちに、もっと立派な人間になって、さらなる高い目標に向かって努力し、日々の生活に「超私の奉仕」を取り入れることに意欲的になるよう奮い立たせてくれます。

奉仕を通じてどんな変化をもたらすかは、ロータリークラブとロータリアン一人一人が、それぞれ決めることです。私たちは一つの組織として、理事会が戦略計画の中で決定した3つの戦略的優先項目、すなわち「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「ロータリーの公共イメージと認知度の向上」を指針として行動します。

まずクラブのサポートについては、今後1年間にオンラインツールが大幅に改善される予定です。Rotary.org は一新され、ロータリー財団への補助金申請手続きが簡素化されます。また、My ROTARY が使いやすくなり、「ロータリークラブ・セントラル」の構成が変わります。クラブの強化に目を向けると、私たち会員が抱える2つの大きな課題が浮き上がってきます。

それは、男女バランスと平均年齢。強いクラブで

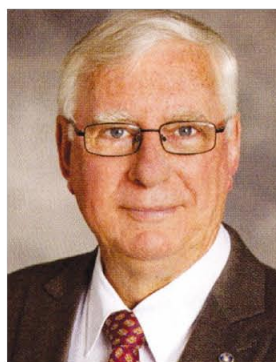
あり続けるには、奉仕する地域社会を映し出すような会員構成にし、次世代のために知識豊富なリーダーを育成し続ける必要があります。

長年にわたり、私たちの奉仕活動すべての根幹に関わってきた一つのアイデアがあります。

それは、持続可能性です。持続可能な奉仕とは、ロータリーの直接的な参加が終了した後も、その活動が長期的に良い影響を与え続けることを意味します。私たちは井戸を掘って立ち去ったりしません。その地域が井戸を維持し、修繕できるようにします。診療所をつくったら、ロータリーからの支援がなくても経営が続けられる方法を、きちんと確立します。ポリオについて言えば、私たちの活動が目指すのは、ウイルスの単なる抑止ではなく、撲滅です。

ポリオを撲滅することは、持続可能な奉仕の中で究極のものです。全世界の人々に、長期的どころか永続的な恩恵をもたらす投資なのです。この活動が完了するまでは、最優先としていかなければなりません。

112年にわたってロータリーは、数えきれないほど多くの人に多くの方法で変化をもたらしてきました。ロータリーの創始者ポール・ハリスによってともされ、「変化をもたらしながら」世代から世代へと引き継がれてきた光を今日、私たち一人一人が支えているのです。



Ian H.S. Risely
2017-18 年度
国際ロータリー (RI) 会長

